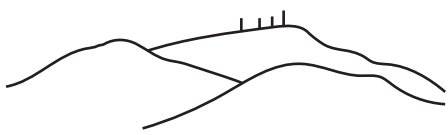


Youth Manna

2021/11/15 - 11/21



マルコ 1:35

さて、イエスは朝早く、まだ暗いうちに起きて寂しいところに出かけて行き、そこで祈っておられた。

2021/11/15(月)

□ーマ 9:19-33

パウロは、引き続き「私達があわれみの器として選ばれた」ことを語っている。本来、私達は不従順の子らの中であって、生まれながらにして御怒りを受けるべき存在だった(エペソ 2:3)。しかし、①神様は豊かな寛容を持って忍耐してくださった(22)。②そして、あわれみの器として選んでくださった(24)。イスラエルの人は、海辺の砂のような数になったが救われるのは僅か一部である。→③救われることは奇跡的なこと(27)。

今日、この3つの事実を改めて覚えよう。デポジションや祈りが習慣になってくると、一方でマンネリ化していると感じることがあるかもしれない。しかし、救われたこと自体が奇跡であり、人には言えない弱さや悩みも全て受け止めてくれる天の父が私達におられる！今日、みんなで見ことばを自分に伝えてくれた人たちへの感謝、そして自分が素直に神の招きに応答できて神様が子として愛して下さること、私達を義に整えて下さることに感謝し、祈ろう！

2021/11/16(火)

□ーマ 10:1-13

パウロは選びの民であるイスラエル人の救いを祈りつつ、イスラエル人は神に対して熱心だけど正しい知識に基づいていないので救われれないと言いました。正しい知識に基づく本当の救いは！律法を守ることではなく、律法によって罪が分かってイエス様が必要だと気づき(4)イエス様を心で信じ、□で告白することで受け取れます(9.10)。神様は恵み豊かで愛が深いお方なので、そこには人種の区別はなく、全ての人が救われることを願っておられるので、主の名を呼び求めるものは全て救われるのです。(12.13)
●神様の深い愛情によって救われたことを感謝しよう！！
●神様の深い愛が他の人にも届くためにオイコスのために祈ろう！！

2021/11/17(水)

□ーマ 10:14-21

パウロは、同胞であるイスラエルの多くがキリストの福音を受け入れない現実を前にして、理由はどこにあるのかと問題を投げかけている。

パウロは、信仰はキリストについてのことばを通して実現すると語った(14-17)。そして詩篇を引用し、キリストについて全世界に語られていたと示す(18)。またイザヤの引用から、神は特にイスラエルに手を差し伸べておられたにも関わらず、イスラエルが受け入れないことを指摘する(19-21)。

真理であるキリストのことばを聞き、それによって歩めるよう祈ろう！

2021/11/18(木)

□ーマ 11:1-10

今日は1節に注目してみよう！

「それでは尋ねますが、神はご自分の民を退けられたのでしょうか。決してそんなことはありません。…」

選民として選ばれたはずだったユダヤ人たちは、自分たちの考え中心の信仰を持つだけになってしまっても、神様は見捨てることはなく、救いの方法を用意されている。

そして、ここで語っているパウロもかつては迫害する側であったが改心して福音を述べ伝える者となっている。

悔い改め、神様を求める者を拒まれることはない。神様の恵みに感謝しよう！

2021/11/19(金)

□ーマ 11:11-24

神様の救いのご計画はイスラエルを通して周りの国に伝わる予定でしたが、イスラエル人はイエス様を救い主として認めないで拒否したので、その特権が異邦人に流れました。でも神様はイスラエルを妬むほど愛し、そのまま滅びることを望まず、異邦人が先に救われてるのを見てイスラエル人が異邦人を妬むことで、その救いの素晴らしさに気付いて神様に戻るように計画を変えました。(11.14) 神様の妬むほどの愛は一度失敗しても諦めない愛です。

●自分で自分を諦めていることはないだろうか？神様は諦めずに愛して下さることを受け取ろう！！

2021/11/20(土)

□ーマ 11:25-36

今日の箇所ではイスラエルはみな救われると書かれているね。その根本にあるのは神様のあわれみで、そのあわれみこそがイスラエルの民が選ばれた理由なんだ。神様はすべてのものをあわれんでくださるお方、だけどそのあわれみを素直に受け取ることができるかどうかは私たち次第ということも覚えておこう。

『すべてのものが神から発し、神によって成り、神に至るのです。』この神様の手からこぼれ落ちる人は誰一人いない。神様はあわれみを注ぎながら私たちが従順に、主のもとに帰る事、主についていくことを願って待っていてくださっているよ。今日、それに応えるために何をするか考えて実践しよう！

2021/11/21(日)

□ーマ 12:1-8

今日の箇所ではパウロは自分の力に頼って、すごい人になろうとするのではなく、完全なお方であるイエス様を信じて、新しく生まれた者として心を新たにすることで、神様に自分を変えていただくことを勧めています。

でも、神様によって自分を変えていただくあり方はみんな違います。その信仰者の歩み、成長は、神様によってその人のタイミングでなされるからです。また、私たちは教会に集まり、それを構成しています。4-5節に書いてあるように、からだである教会も器官である個人も、成長は神様によってなされ、そこで各自に与えられた恵みの賜物を惜しまず、熱心に、喜んで用いることが期待されています。あなたに与えられている賜物は何でしょうか？神様に聞いてみましょう。そしてそれが何か分かったら神様のために用いていきましょう！